

手引き

俳句に強くなる

俳句は、五、七、五の音数の三句からなる定型詩です。俳句の中よみ込まれた季節を表す言葉を押さえ、季語から生まれる季節感を味わうとともに、広がりのある情景を想像しましょう。また、作者の思いを読み取って、十七音の短い言葉でどんな世界が描かれているのかを考えましょう。

《読解の手順》

理解の道すじ

1 構成をとらえよう

切れ字に注意して、句切れを押さえる。

句が切れることを表す語を切れ字といいます。切れ字には、強調し、感動を深める働きがあります。

主な切れ字

ぞ・かな・や・けり・ず・ぬ・らむ

2 情景をとらえよう

季語を押さえて季節感をつかみ、情景を想像する。

季節を表す言葉を季語といいます。俳句には、その中に季語をよみ込むというきまりがあります。

3 感動の中心をとらえよう

次の点を手がかりにして、感動の中心をとらえる。

- ・ 俳句の中にどのような世界が描かれているのかを考える。
- ・ 俳句に込められた作者の思いを読み取る。
- ・ 切れ字に注意し、感動がどこに表現されているかを読み取る。

4 表現の工夫をとらえよう

- ・ 体言止め、比喻、倒置法などの表現技法や、リズムの特徴を押さえ、その効果を考える。

《季語の例》

<p>春</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 梅・うぐいす ・ 桜・つくし ・ 雪解け ・ 東風・初春 ・ 雛・蝶 	<p>夏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 梅雨・雨蛙 ・ 打ち水 ・ 風薫る ・ 葉桜・更衣 ・ かたつむり 	<p>秋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天の川 ・ 稻刈り ・ 台風 ・ 馬肥ゆる ・ 七夕 	<p>冬</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風邪 ・ クリスマス ・ 師走 ・ たきび ・ 木枯らし
---	--	---	---

